



SINCE 1996

ゲンゼ 博物苑

認定近代化産業遺産

ゲンゼ創立125周年記念

蚕織 錦絵 特別展

蚕が誕生してから
織物ができるまで



開催期間 7.30(金) ▶ 8.8(日)

時間 10:00~15:00 定休日 8.3(火)

入場
無料

場所 ゲンゼ博物苑 未来蔵2階
綾部市青野町膳所1番地

積み重ねた125年の歴史

～明治から大正へ、受け継がれるもの～

浮世絵は、江戸時代から明治時代にかけて、当時の暮らしや風俗、流行をあらわすものとして数多く描かれ、なかでも多色刷りの木版画である「錦絵」は庶民の間で人気がありました。「蚕織錦絵」とは、蚕の誕生から絹織物が出来るまでを描いた錦絵の総称であり、グンゼの祖業である蚕糸業にまつわる錦絵を230枚所有しています。今回は創立125周年を記念し、グンゼのあゆみを紹介する貴重な写真とともに、10点以上の錦絵を公開いたします。リニューアルした未来蔵で、明治から大正へ受け継がれた歴史と芸術をお楽しみください。



歌川(梅寿) 国利
「養蚕天覧之図」



現在でも皇室で行われている御親蚕(皇后さまが自ら蚕を飼育)は、明治天皇の皇后さまである昭憲皇太后が明治4年に始められたのが最初であり、明治政府とともに皇室も積極的に蚕糸・絹業を推奨しました。そのため、皇室にまつわる多くの錦絵が描かれました。色鮮やかで華やかな宮中をご覧ください。



翠軒竹葉
「宮中養蚕之図」



富岡製糸場は、1872年(明治5)に、明治政府が主要輸出品である生糸の品質向上と増産のために、器械製糸技術を普及させる目的で設立された官営工場であり、蚕糸業の近代化を象徴する建物でした。

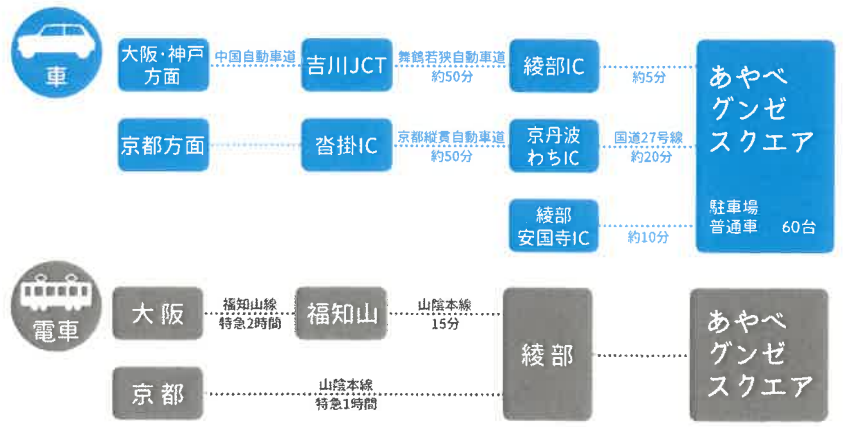
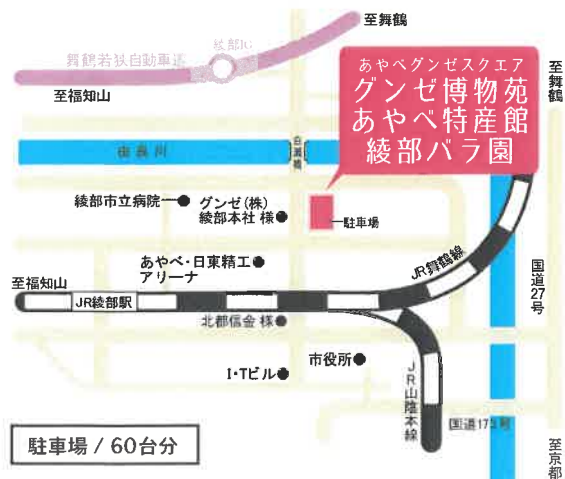


歌川(一暉斎) 国輝
「上州富岡製糸場」



貞明皇后より賜った香烟
グンゼ記念館2階栄誉室展示

グンゼは、旧本社(現グンゼ記念館)が完成した大正6年に貞明皇后の行啓を賜りました。当時民間企業への皇族の行啓は異例であり、特に貞明皇后は蚕糸業振興に関心があり、グンゼは道徳と経済を一致させている会社として高く評価をされたため実現したと言われています。特別展期間中はグンゼ記念館も開館いたします。



〒623-0011 京都府綾部市青野町「あやベグンゼスクエア」内
TEL 平日 0773-42-3181 土日祝 0773-43-1050

＜ 交通のご案内 ＞
●電車で JR 山陰本線 綾部駅より徒歩約10分 ●お車で 舞鶴自動車道 綾部 IC から車で約5分